



あること博物館を

歩く(8)

今月から二回にわたって禾生地区を歩きます。

①市神

富士急行線の赤坂駅を出て国道を大月方面へ進むと、右側に市神と呼ばれる神がまつられています。この四日市場という地域はその名が示すとおり、古くから交易の場として栄え、毎月四日に市が立つたと言われています。

②生出神社

この神社の例祭は郡内三大祭の一つである「八朔祭」で、毎年九月一日には大行列や屋台が繰り出されて盛大に祭りが行われます。本殿は明和五年(一七六八)に建てられたもので、彫刻がとても素晴らしく、棟札に江戸の後藤茂吉衛門、後藤市蔵、野川の高田勝蔵の三人の彫刻師の名が確認できます。この本殿は昭和五十九年に市の文化財に指定されました。また、神楽堂も昭和六十一年に文化財に指定されています。

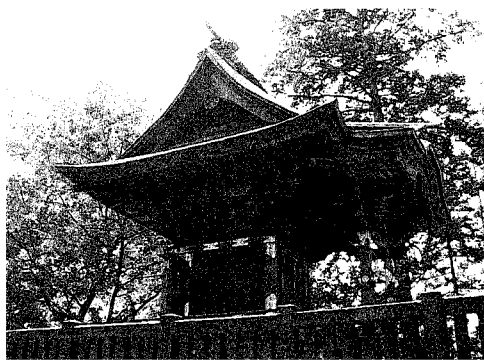
③保寿院

生出神社前に入って、富士急行線の踏切を渡ると、保寿院があります。ここは、第二次世界大戦の時にアッツ島で勇敢に玉砕した山崎部隊の隊長、山崎保代氏出生の地になります。この勇士の遺徳を偲び、境内には慈悲と平和の象徴である観世音菩薩尊像(アツツ観音)が建てられ、毎年五月二十九日に

は慰霊祭が行われています。

④八王子神社

国道から、川茂へ行く途中を左へ入ると神社があります。伝説によると、養老年間(七一七―一二三)に百済から渡来してきた高僧・行基がこの地を訪れ、姥沢河原から水をひいて田を開くことを思いつき、五男三女の神々をまつて祈願したことが始まりだと言われています。その後百年を経て、宝暦九年(一七五九)に現在地に社殿



生出神社 本殿

を移しました。

境内には市指定天然記念物である大イチョウがあります。

⑤浄泉寺

川茂から横吹へぬける坂道の途中にこの寺があります。養老年間に行基が薬師堂を建立したのが始まりとされ、天台宗として二十四代続きました。二十四代のとき、蓮如上人の教えを受けて現在の浄土宗に転派したと言われています。境内にはムササビが数多く生息し

ていて、現在でも大学生が子どもたちを対象とした観察会を行っています。



⑥二ヶ堰

昔、小形山地区は広い耕地がありながら水利がなく、稲作ができずに困っていました。このため、人々は用水の導入と開田化の協議を続け、水路開削の代表者として、井倉村の豪農、小林徳兵衛に依頼しました。天明二年(一七八二)に羽根子境を水の取り入れ口として、小形山中谷入り口までの約三キロの行程で工事は開始されました。その後、いくつもの財政的困難に遭い、徳兵衛は私財を投げ売ってまでもこの工事を続けました。そして、寛政十年(一七九八)、十六年の歳月を重ね、やっと完成しました。

今年は、完成からちょうど二百年目に当たります。この歴史ある堰は、現在でも豊富な水を川茂・小形山地区に流し続けています。さて、今月は禾生地区を歩きました。ぜひ皆さんもこれを参考に歩いてみてください。

問合先

生涯学習課 文化振興担当

ネイチャーセンター ガイド(9)

1階展示フロアでは…

企画特別展示

……『ブナ林展』開催……

木を切ってしまうことは、ほんの一瞬にすぎないことです。

ブナの木が一人前になるには数百年の月日を費やします。

木々や森の大切さを考えてみましょう。



ブナの木

ネイチャーセンターのある高畑地区は標高700メートル。11月の平均気温は7、8度ぐらいになります。いよいよ秋深き季節、都留の山々に色づく紅葉の世界を感じてみてください。

2階展示フロアでは…

……『うら山写真展』開催……

今年で5回目を迎える都留文科大学の学生との共同写真展です。

今年の春から秋にかけての「都留の自然」をテーマに三十数点の写真が展示されます。

野生の躍動感あふれる世界をお楽しみください。

10月よりコウモリの情報を集めています。どんなことでも結構です。下記連絡先までお願いします。

- ・コウモリが住んでいる洞窟がある
- ・コウモリが飛んでいるのをみた など

連絡・問合先 都留いきものふれあいの里

ネイチャーセンター ☎(45)6222